

平成20年度生産性限界打破事業交付決定地区一覧

	事業種類	都道府県名 市町村名	事業実施主体名	対象作物・施設名	取組概要	投資効率 (注)	予定事業費 (千円)		交付決定年月日	備考
							うち国費 (千円)			
1	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	北海道 美唄市	美唄市水稲直播研 究会	水稲、小麦 実証ほ場設置	水稲においては、汎用可能な乾田直播機を導入し、農機具費の低減を図るとともに、漏水等のほ場条件によって直播栽培が導入されていないほ場において、新たに湛水直播栽培を導入し、労働費の低減を図る。 また、麦においては、収量性の高い麦の新品種「きたほなみ」を導入し、麦栽培の収益性の改善を目指す。さらに、麦栽培に当たっては、連作による病害の発生等を回避し、適切な大豆・麦の輪作体系を構築するため、新たに不耕起間作小麦栽培を導入し、品質及び収量の向上を図る。		2,326	2,215	平成20年8月18日	推進事業
2	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	北海道 美唄市	美唄市水稲直播研 究会	水稲、小麦 乾田直播播種機 湛水直播播種機 ビークル	水稲においては、汎用可能な乾田直播機を導入し、農機具費の低減を図るとともに、漏水等のほ場条件によって直播栽培が導入されていないほ場において、新たに湛水直播栽培を導入し、労働費の低減を図る。 また、麦においては、収量性の高い麦の新品種「きたほなみ」を導入し、麦栽培の収益性の改善を目指す。さらに、麦栽培に当たっては、連作による病害の発生等を回避し、適切な大豆・麦の輪作体系を構築するため、新たに不耕起間作小麦栽培を導入し、品質及び収量の向上を図る。	1.76	12,969	6,175	平成20年8月18日	整備事業
3	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	青森県 五所川原 市	ごしよがわらフロ ンティア農業実践 組合	水稲、小麦 農業機械のリース、 現地検討会の 実施等	水稲においては、新たに乾田直播栽培技術を導入するため、汎用型の不耕起播種機を導入（リース契約）し、労働時間等の大幅な削減を含む生産コストの削減を図るとともに、レーザー均平機を導入（リース契約）、移植栽培との単収格差縮小に努める。 また、小麦においても、不耕起播種機を活用し、不耕起播種栽培を導入するとともに、サブソイラーを導入（リース契約）し、湿害回避を行い発芽率・生産性の向上を図る。 さらに、不耕起播種機をホールクローブサイレージの作付にも利用することで、機械の汎用化による機械費の低減を図る。		5,103	5,102	平成20年7月1日	推進事業
4	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	茨城県 筑西市	田谷川協業組合	小麦、大豆 技術実証ほ場への 生産資材費等	小麦については、安定多収性で品質の良い新品種「きぬの波」を導入し、多収による生産費の低減を図り、大豆については、適期播種による品種向上及び収量の安定化、さらには、不耕起狭畦密植栽培及び耕うん同時畦立播種の新たな技術導入・拡大を通じたコスト削減を図り、収益性の向上につながる水田営農体系を確立する。 さらに、研修会等を通じて、水田営農体系の普及・定着を図る。		2,900	2,900	平成20年7月15日	推進事業
5	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	兵庫県 豊岡市	中谷農事組合法人	小麦、大豆 実証ほ場設置等	麦は、暗きよ排水のメンテナンスや従来から実施している補助暗きよ及び明きよの設置とともに、湿害対策に高い効果をあげている「耕うん同時畝立て播種栽培技術」を導入し、収量の安定化を図る。 また、新たに、輪作体系に大豆を加えることによって収益性の向上を図るため、大豆においても「耕うん同時畝立て播種栽培技術」を導入する。あわせて、当組合が営農する水田がコウノトリの舞い降りる田んぼとして認定を受けていることもあり、低肥料・低農薬での栽培が可能な大豆の契約栽培に取組む。 さらに、これらの成果を成績検討会等を通じて、地域への営農体系・技術の普及・定着を図る。		934	876	平成20年8月25日	推進事業
6	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	兵庫県 豊岡市	中谷農事組合法人	小麦、大豆 共同乾燥施設、共 同利用機械	麦は、暗きよ排水のメンテナンスや従来から実施している補助暗きよ及び明きよの設置とともに、湿害対策に高い効果をあげている「耕うん同時畝立て播種栽培技術」を導入し、収量の安定化を図る。 また、新たに、輪作体系に大豆を加えることによって収益性の向上を図るため、大豆においても「耕うん同時畝立て播種栽培技術」を導入する。あわせて、当組合が営農する水田がコウノトリの舞い降りる田んぼとして認定を受けていることもあり、低肥料・低農薬での栽培が可能な大豆の契約栽培に取組む。 さらに、これらの成果を成績検討会等を通じて、地域への営農体系・技術の普及・定着を図る。	1.08	3,800	1,808	平成20年8月25日	整備事業

	事業種類	都道府県名 市町村名	事業実施主体名	対象作物・施設名	取組概要	投資効率 (注)	予定事業費 (千円)		交付決定年月日	備考
							うち国費 (千円)			
7	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	広島県 世羅町	尾道市農業協同組 合	水稲、大麦、大豆 実証ほ場委託等	水稲については、直播栽培技術の実施により、播種作業の大幅な省力化を図るとともに、鉄コーティング種子の活用により、浮き苗・鳥害等の発生を抑え、安定的な生産体制を確立する。 麦については、品質及び収量性を高めるため、新品種「すずかぜ」を導入するとともに、不耕起播種技術の導入による播種作業の省力化を図る。 大豆については、大豆300A技術である不耕起密植栽培の導入により、播種時期の湿害を軽減するとともに、播種作業の省力化を図る。 さらに、これら技術の導入に当たって栽培マニュアルを作成し、地域への普及を行う。		840	800	平成20年7月24日	推進事業
8	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	北海道 芽室町	J A めむる馬鈴薯 作業受託組合	馬鈴しょ 栽培マニュアル作 成	馬鈴しょについては、ソイルコンディショニング栽培技術を導入し、収穫作業で問題となる土塊等夾雑物を除去することによって、夾雑物による打撲の回避や収穫作業の省力化を図り、高品質化、規模拡大を可能とする栽培システムを構築する。 さらに、本地域においては、馬鈴薯作業受託組合に本栽培技術を導入し、条件不利地帯においても高品質、高能率かつ省力的な生産体系の確立を図るとともに、労働不足により生食・加工用馬鈴しょの作付が困難な家族経営体での馬鈴しょ委託栽培を可能とし、地域の安定生産に向けた体制を確立する。		126	126	平成20年8月18日	推進事業
9	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	北海道 芽室町	J A めむる馬鈴薯 作業受託組合	馬鈴しょ ソイルコンディ ショニング栽培技 術機械一式	馬鈴しょについては、ソイルコンディショニング栽培技術を導入し、収穫作業で問題となる土塊等夾雑物を除去することによって、夾雑物による打撲の回避や収穫作業の省力化を図り、高品質化、規模拡大を可能とする栽培システムを構築する。 さらに、本地域においては、馬鈴薯作業受託組合に本栽培技術を導入し、条件不利地帯においても高品質、高能率かつ省力的な生産体系の確立を図るとともに、労働不足により生食・加工用馬鈴しょの作付が困難な家族経営体での馬鈴しょ委託栽培を可能とし、地域の安定生産に向けた体制を確立する。	1.19	57,330	28,665	平成20年8月18日	整備事業
10	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	北海道 新得町	新得町種子馬鈴薯 生産組合	馬鈴しょ 推進会議等	馬鈴しょについては、ソイルコンディショニング栽培技術を導入し、収穫作業で問題となる土塊等夾雑物を除去することによって、夾雑物による打撲の回避や収穫作業の省力化を図り、高品質化、規模拡大を可能とする栽培システムを構築する。 さらに、本地域においては、種子馬鈴薯生産組合に対して本技術を導入し、条件不利地帯においても高品質、高能率かつ省力的な種子の生産体系の確立し、馬鈴しょの作付面積の拡大や安定生産につなげる。		84	84	平成20年8月18日	推進事業
11	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	北海道 新得町	新得町種子馬鈴薯 生産組合	馬鈴しょ ソイルコンディ ショニング栽培技 術機械一式	馬鈴しょについては、ソイルコンディショニング栽培技術を導入し、収穫作業で問題となる土塊等夾雑物を除去することによって、夾雑物による打撲の回避や収穫作業の省力化を図り、高品質化、規模拡大を可能とする栽培システムを構築する。 さらに、本地域においては、種子馬鈴薯生産組合に対して本技術を導入し、条件不利地帯においても高品質、高能率かつ省力的な種子の生産体系の確立し、馬鈴しょの作付面積の拡大や安定生産につなげる。	1.43	20,391	10,195	平成20年8月18日	整備事業
12	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	北海道 斜里町	斜里町農業協同組 合	馬鈴しょ、小麦 栽培マニュアル	馬鈴しょについては、ソイルコンディショニング栽培技術を導入し、収穫作業で問題となる土塊等夾雑物を除去することによって、夾雑物による打撲の回避や収穫作業の省力化を図り、高品質化、規模拡大を可能とする栽培システムを構築する。新栽培技術を導入することによりでん粉原料用からの用途転換を図りつつ、地域コントラクター等を活用して加工用馬鈴しょの高品質化、規模拡大や適正輪作等を図る。 また、小麦については、乗用刈倒し機・天日乾燥を組み合わせた雨害リスク低減技術を導入し、生産コストを低減させる栽培システムを構築する。		1,138	1,083	平成20年8月18日	推進事業

	事業種類	都道府県名 市町村名	事業実施主体名	対象作物・施設名	取組概要	投資効率 (注)	予定事業費 (千円)	うち国費 (千円)	交付決定年月日	備考
13	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	北海道 斜里町	斜里町農業協同組 合	馬鈴しょ、小麦 ソイルコンディ ショニング栽培技 術機械一式、ヘイ バイン機械一式	馬鈴しょについては、ソイルコンディショニング栽培技術を導入し、収穫作業で問題となる土塊等夾雑物を除去することによって、夾雑物による打撲の回避や収穫作業の省力化を図り、高品質化、規模拡大を可能とする栽培システムを構築する。新栽培技術を導入することによりでん粉原料用からの用途転換を図りつつ、地域コントラクター等を活用して加工用馬鈴しょの高品質化、規模拡大や適正輪作等を図る。 また、小麦については、兼用刈倒し機・天日乾燥を組み合わせた雨害リスク低減技術を導入し、生産コストを低減させる栽培システムを構築する。	1.81	244,067	116,222	平成20年8月18日	整備事業
14	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	岩手県 平泉町	農事組合法人 アグリ平泉	小麦・大豆 栽培マニュアル作 成	小麦の新品種「ゆきちから」の導入と大豆300A技術の一つである「小畦立直播栽培」の導入により、麦・大豆の高品質・高単収を目指す実証を行う。また、麦・大豆の生育期の病害虫・除草防除、大豆の中耕・培土を行う栽培管理用ピークル等の機械及び技術を導入し、省力化及び高単収な麦・大豆の生産を実現する。	/	1,554	1,294	平成20年10月3日	推進事業
15	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	秋田県 大仙市	農事組合法人 中仙さくらファーム	水稻、大豆 栽培マニュアル作 成	水稻湛水直播技術、大豆の300A技術等の技術をトラクター、汎用コンバイン、多目的田植機（移植・直播）、ロータリーカルチベーター等の農業機械をリースで導入して実証し、地域への導入を早急に行い、米の生産費の更なる縮減、大豆の高単収、高品質生産を実現する。	/	11,636	10,000	平成20年10月3日	推進事業
16	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	北海道 鹿追町	鹿追町農業協同組 合	野菜（キャベツ） 実証試験の実施	キャベツ栽培は、生産に係る労働時間の半分を占める収穫・調製作業については有効な技術の導入が進んでいない状況にあり、手作業による重労働を強いられている。このような課題を解決するため、全自動キャベツ収穫機を核とした機械化一貫体系の確立が、加工・業務用キャベツ生産の省力・低コスト化に有効であると判断されることから、収穫機適正品種及び栽培体系確立のための実証試験等を実施し、低コストかつ安定的に供給するシステムの構築に取り組む。	/	11,149	11,149	平成20年10月17日	推進事業
17	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	北海道 美幌町	美幌ポテト倶楽部	ばれいしょ、てん 菜 栽培マニュアル作 成	ばれいしょの種子生産については、ソイルコンディショニング栽培技術を導入することにより、収穫作業で問題となる土塊等夾雑物を春作業時に予め機械で除去し、収穫物の打撲の回避とともに労働時間の削減を図り、高品質な種子の提供及び規模拡大を可能とする栽培体系を構築する。 また、てん菜については、直播栽培技術の導入によって、育苗作業を省略し、他作物との作業競合の回避を可能とする栽培体系を構築する。	/	40	40	平成21年2月24日	推進事業
18	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	北海道 美幌町	美幌ポテト倶楽部	ばれいしょ、てん 菜 ソイルコンディ ショニング栽培技 術機械一式、パ キュームシーダー	ばれいしょの種子生産については、ソイルコンディショニング栽培技術を導入することにより、収穫作業で問題となる土塊等夾雑物を春作業時に予め機械で除去し、収穫物の打撲の回避とともに労働時間の削減を図り、高品質な種子の提供及び規模拡大を可能とする栽培体系を構築する。 また、てん菜については、直播栽培技術の導入によって、育苗作業を省略し、他作物との作業競合の回避を可能とする栽培体系を構築する。	1.64	22,108	11,054	平成21年2月24日	整備事業
19	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	愛知県 西尾市 幡豆郡一 色町	西尾幡豆高効率麦 大豆研究会	小麦・大豆 推進会議等	麦については、収穫期が梅雨と重なり、品質や収穫に大きな影響を受けやすいことから、これまでの主力品種である農林61号と比べ、早生で収穫性の高い新品種「イワイノダイチ」を導入する。 また、大豆においては、播種期が梅雨と重なることや大規模化による作業の集中から播種適期を逃しやすい。このため、雨の合間に速やかに施肥・播種同時作業体系の導入や播種が遅れた場合においても収量の安定確保が可能な狭畦無中耕無培土栽培の実証を行う。	/	16	16	平成21年3月2日	推進事業

	事業種類	都道府県名 市町村名	事業実施主体名	対象作物・施設名	取組概要	投資効率 (注)	予定事業費 (千円)		交付決定年月日	備考
							うち国費 (千円)			
20	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	愛知県 西尾市 幡豆郡一 色町	西尾幡豆高能率麦 大豆研究会	小麦・大豆 大豆選別共同調製 施設(大豆粗選 機、色彩選別 機)、施肥播種同 時作業機等	麦については、収穫期が梅雨と重なり、品質や収穫に大きな影響を受けやすいことから、これまでの主力品種である農林61号と比べ、早生で収穫性の高い新品種「イワイノダイチ」を導入する。 また、大豆においては、播種期が梅雨と重なることや大規模化による作業の集中から播種適期を逃しやすい。このため、雨の合間に速やかに施肥・播種同時作業体系の導入や播種が遅れた場合においても収量の安定確保が可能な狭畦無中耕無培土栽培の実証を行う。	1.79	13,267	6,318	平成21年3月2日	整備事業
21	生産性限界 打破事業モ デル実践事 業	沖縄県 糸満市	南部地区さとうき び生産振興対策協 議会	さとうきび 生産性向上に向け た夏植型秋収穫裁 培体系	さとうきびについて、台風や干ばつの被害を受けにくく、出芽や萌芽率を高め収量を向上させ、かつ降雨の多い時期を避けて収穫することにより、ハーベスターの収穫率を向上させる等の長所がある夏植型秋収穫栽培体系を確立し、従来の2年1作の栽培体系から、5年4作の栽培体系への転換を図る。このため、生長が休止する冬でなければ糖度が上昇しにくい従来の品種に替えて、生長期の秋でも糖度が上昇しやすい新品種の導入を図る。		2,815	2,815	平成20年12月11日	推進事業
22	次世代園芸 ロボット技 術導入検証 事業	東京都 港区	(社)日本ロボッ ト工業会	園芸作物	労働時間が多い園芸分野において、生産コスト、労働時間又は労働負荷の低減に資するため、ロボット及び農業分野の有識者からなる推進委員会を設置し、生産現場でのロボット技術の導入・実証を行い、実用化への加速化を図る。 【園芸用ロボット】 大学・民間等で研究開発が行われている園芸用ロボット技術について、公募形式により実証技術を選定し、その実証結果を検証、評価し、実用化の推進を図る。 【非農業用ロボット】 現在、既に実用化されている非農業分野のロボット技術について、農業分野への利用可能性の高い技術を選定し、農業分野での利用を可能とする使用の決定、ほ場実証を可能とする改良を行う。		60,625	60,625	平成20年7月22日	推進事業

注：投資効率については、「強い農業づくり交付金及び農業・食品産業競争力強化支援事業における費用対効果分析の実施について」
(平成17年4月1日付け16生産第8452号総合食料局長・生産局長・経営局長通知)にて算出している。